

4
(火)

御名による祈り

ヨハネによる福音書一六章16〜24節

あなたがたが私の名によって願うなら、父は何でも与えてくださる。今までは、あなたがたは私の名によっては何も願わなかった。願いなさい。そうすれば与えられ、……。 (23、24)

弟子たちのもとを去るにあたり、主イエスは彼らがいかに祈るべきかを教えます。祈りの鍵は、イエスの名によって祈ることです。父なる神の右の座して私たちのためにとりなしておられる主イエスの名に全幅の信頼を寄せて祈るのです。私たちは主イエスに寄り頼んで祈っているでしょうか、それとも自分自身の熱心さを頼みにしているでしょうか。私たちが熱心だから祈りが聞かれる、というのではありません。私たちのために十字架で死に、復活されたキリストのゆえに、祈りは聞かれるのです。私たちが愛し、私たちのためにご自身の御子をさえ与えてくださった神は、主に信頼して祈る者たちの祈りを決して疎かにはなさいません。最善の時に、最善の方法をもって私たちの祈りに答えてくださいます。それゆえ私たちは大胆に主イエスの御名によって祈ろうではありませんか。